

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	障害者自立支援センター					所管	福祉部 障害福祉課	
	行政計画	事業NO.	175	計画事業名	相談支援体制の充実			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり							
		[小 柱] (5)障害者の地域生活を支える支援の充実						[事業開始] 平成13年度	
	根拠法令等		条例・規則	[法令等名]	東京都台東区松が谷福祉会館条例				[終了予定] - 年度
	事業対象	身体・知的障害者(児)							
	事業目的	○障害者やその家族に対し相談支援(計画相談・一般相談等)を行う。 ○基幹相談支援センター・自立支援協議会において関係機関のネットワークの構築と相談支援事業全般のレベルアップを目指す。							
	事業内容	<適切な障害福祉サービス調整のための相談事業> ○相談支援事業(計画相談・一般相談・ピアカウンセリング等)の実施 ○基幹相談支援センター・障害者地域自立支援協議会の運営(地域の相談支援事業者全体の底上げを担う。)							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	相談支援事業実施期間	-	通年	通年	通年	通年		
		成果指標	相談支援件数	件	5,200	3,159	5,133	4,854	
	決算額 (単位:千円)				18,067	18,917	25,010		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			34,327	34,321	42,323		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			921	368	214		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,241	270	307		
		総経費			36,489	34,959	42,844		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,326	7,220	8,324		
一般財源(区負担額)			34,163	27,739	34,520				
前回評価から改善した事項	精神障害者地域生活支援センターあさがおとの月一回の会議により連携を深め、地域の相談支援事業者の底上げを目的とした研修や講演会を計画的に行っている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	委託相談支援事業者の資質向上を目的とした研修会・講演会の開催など、基幹相談支援センターが担う障害者(児)相談支援の中核的役割は大きい。						
	効率性	3	障害者の相談支援の内容は、複雑かつ困難化してきているが、専門性の高い非常勤相談員が適切かつ、きめ細かに対応している。						
	手段の適切性	3	区直営の相談事業所ということで支援の困難性の高いケースを中長期的に担当することが多いが、障害福祉課・保健所等と連携し、多様な相談に対応できる体制の強化を図っている。						
	目的達成度	3	基幹相談支援センターの役割として精神障害者地域生活支援センターあさがおとの連携により、研修会や講演会を開催し、地域の相談支援事業所の資質向上を図っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
多岐にわたる障害福祉サービスを適切に利用できるよう、調整していく相談支援事業所の役割は大きい。障害者自立支援センターは、引き続き地域の相談支援事業の中核的役割を果たし、地域全体の相談資質向上と充実のための事業を展開していく。					維持				